

# 創薬エコシステム： アカデミアの取り組みと今後の展望

2026.1.27 火 13:00-16:50

形式：会場（先着70名）/配信（zoomウェビナー）  
TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅日本橋  
東京都中央区日本橋3丁目11-1HSBCビルディング6階（ホール6C）  
東京メトロ東西線日本橋（東京都）駅B1徒歩4分  
JR京浜東北線東京駅八重洲地下街23番出口徒歩3分



Google Map



日本の創薬を取り巻く環境は、大きく変化しています。最近では、政府の戦略分野のひとつとして創薬・先端医療が設定され、各方面でさまざまな取り組みが進められています。本学アカデミア創薬シンポジウムでは、過去2回に渡り、あるべき創薬エコシステムとそこで果たすべきアカデミアの役割について議論してきました。

今次シンポジウムでは、優れた活動を展開しているアカデミアより講師を招いて、その成果を皆様と共有し、新たに見出された課題や今後の方向性などを議論します。

13:00-13:10 開会挨拶&シンポジウムキーノート

乾 隆（大阪公立大学大学院農学研究科 教授  
/創薬科学研究所 所長）



13:10-13:30

創薬を支えるアカデミアの価値  
～社会の中で大学が果たす役割とは～

村木 優子（大阪大学 経営企画オフィス 教授）

13:30-13:50

尿由来幹細胞が拓く  
創薬エコシステム  
—産官学協働による体性幹細胞研究の新局面—

青木 吉嗣（国立精神・神経医療研究センター  
神経研究所遺伝子疾患治療研究部 部長  
/日本希少疾患コンソーシアム 代表）



13:50-14:10

「創薬プロセス」の中での人材育成  
-広島大学の取り組み-

三浦 由恵（広島大学 PSI GMP教育研究センター  
上席特任学術研究員）



14:10-14:30

創薬イノベーションの新時代  
創薬科学研究科の挑戦  
乾 隆（大阪公立大学大学院農学研究科 教授  
/創薬科学研究所 所長）



14:45-15:45 パネルディスカッション

これまでの取り組みで見えて  
きたこと、今後に向けての提言



司会) 上田 豊（大阪公立大学 創薬科学研究所 特任教授）

15:45-15:50 閉会挨拶

徳永文稔（大阪公立大学副学長/研究戦略、国際戦略担当理事）  
オンライン配信はここまで

15:50-16:50

「ポスターセッション&ネットワーキング」  
大阪公立大学の創薬シーズをポスターにて紹介  
関係研究者も多数参加予定 是非会場にてご参加ください

主催: 大阪公立大学 研究推進機構 協創研究センター 創薬科学研究所

後援: 大阪府、日本製薬工業協会、一般社団法人日本臨床検査薬協会、一般財団法人バイオインダストリー協会

事務局: 大阪公立大学 URAセンター



シンポジウム  
詳細サイト

参加登録: [https://www.omy.ac.jp/ura/contact/form\\_soyaku\\_12.html](https://www.omy.ac.jp/ura/contact/form_soyaku_12.html)

参加申込期限: 2026年1月23日[金] (正午) 参加対象: どなたでも 参加費無料

※お申込みの際の個人情報は、応募後の事務連絡、統計資料などの作成および本学イベント情報等のご案内に使用いたします。  
利用目的以外の使用については、一切いたしません。

※開催前日までに、お申込み時に登録いただいたメールアドレス宛に事務局より視聴案内をお送りいたします。

※シンポジウムの進行時間は目安であり変更になる場合があります。